



【日本気象協会からのお知らせ】

2018年8月10日
一般財団法人 日本気象協会

日本気象協会、名古屋工業大学ソーラーカー部を日射量推定・予測情報で支援 ～「ソーラーカーレース鈴鹿 2018」OLYMPIA クラスで優勝！～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、会長：石川 裕己、以下「日本気象協会」）が支援している名古屋工業大学ソーラーカー部は、「FIA Electric & New Energy Championship ソーラーカーレース鈴鹿 2018」の OLYMPIA クラスで優勝しました。

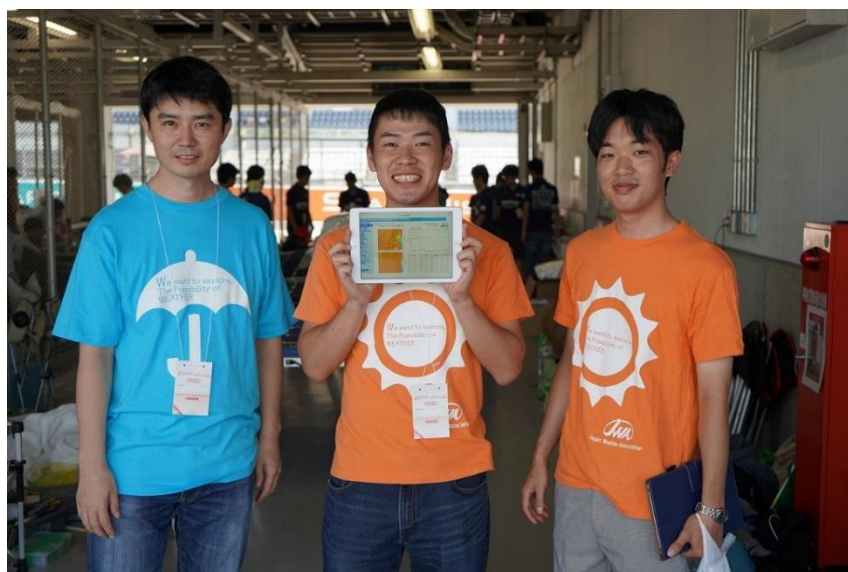
「FIA Electric & New Energy Championship ソーラーカーレース鈴鹿 2018」は、2018年8月3日（金）・4日（土）に鈴鹿サーキット（三重県鈴鹿市）で行われた国内最高峰のソーラーカーレースの大会です。名古屋工業大学ソーラーカー部は、本大会の5時間耐久レースに出場し、同部として本大会過去最高となる OLYMPIA クラス優勝、総合3位を獲得されました。日本気象協会は、レースの戦略・走行計画策定のため、2018年6月から支援を開始し、独自の日射量推定・予測情報を提供しています。



名古屋工業大学ソーラーカー部との集合写真



5時間耐久レースで走行する名古屋工業大学ソーラーカー部の「HorizonZ」



日本気象協会 ソーラーカーレース支援チーム

(鈴鹿サーキット・三重県鈴鹿市、2018年8月4日撮影)

ソーラーカーは、太陽エネルギーのみで走る、いわば「究極のエコカー」です。しかし、天候の変化に伴って日射量が変動するため、車体が受けるエネルギー量は一定ではありません。したがって、ソーラーカーレースには細やかな走行計画・戦略策定が必要となります。名古屋工業大学ソーラーカー部は、日本気象協会の日射量推定・予測情報をソーラーカーレースに活用することにより、天候や時間帯別の気象条件も織り込んだレースマネジメントが可能となりました。

日本気象協会は、気象情報を通じてソーラーカーレースをはじめとしたスポーツ全般を支援し、「気象×スポーツ」の取り組みを今後も積極的に推進していきます。

■日本気象協会の支援内容

(1) 戦略策定支援情報

独自気象モデルを活用し、レース当日の予測日射量を30分単位で提供するものです。

レース当日の戦略策定のため、前々日～当日に発表しました。

【関連サービス】<http://www.jwa.or.jp/service-business/service/28.html>

(2) レース支援情報

ひまわり8号の衛星データを活用し、直近1時間の推定日射量および3時間先までの予測日射量を5分ごとに提供するものです。

レース中の支援情報として、10分ごとに発表しました。

【関連サービス】<http://www.jwa.or.jp/service-business/service/798.html>

<http://www.jwa.or.jp/service-business/service/797.html>

■名古屋工業大学ソーラーカー部 公式ウェブサイト

<http://solar-car.club.nitech.ac.jp/index.html>

以上